

診療体制の充実に向けて

耳鼻咽喉科からのご案内

はじめに

日ごろより、東京労災病院耳鼻咽喉科に多数の患者様のご紹介を頂き、誠にありがとうございます。昨年の8月より開始いたしました甲状腺外来もようやく軌道に乗り始め、多くの患者様を診察加療させて頂いております。重ねて御礼申し上げます。

さて、平成24年4月より、従来外来及び入院に対応しておりました、友田部長、坂部副部長、廣岡（榎本）医師に加え、小谷副部長の復帰及び後期研修医である山浦医師が着任し、常時5名体制をとらせて頂くことになりました。

今までに比べ、外来及び入院が必要となる患者様に対して、余裕を持って対応できる体制となりました。今後さらに近隣の先生方との連携を密にし、地域医療に貢献したいと考えております。又、専門外来として、甲状腺外来、補聴器外来、睡眠時無呼吸外来を開設しております。必要な症例がございましたら、いつでもご紹介下さい。

日曜日の救急患者に対しましても、朝9時から16時半までは耳鼻咽喉科常勤医が院内に常時待機し、診察させて頂くことにいたしました。お困りの患者様がございましたら、お伝え頂ければ幸いです。

— 命の輝きを共有できる病院 —

東京労災病院

新しい診療体制について

通常外来

- 月曜日から金曜日：
午前 8 時半より午後 16 時まで

専門外来

- 甲状腺外来：
水、木曜日（午前 9 時から午後 4 時）：
友田部長
- 睡眠時無呼吸外来：
火曜日午後（午後 4 時から午後 5 時半）：
坂部副部长
- 補聴器外来：
木曜日午後（午後 1 時半から午後 4 時）：
小谷副部长

休日診療（祝日を除く）

- 日曜日（午前 9 時より午後 4 時半まで）：
原則的には救急対応に限ります。
常勤医が交代で対応いたします。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	日曜日
午前 1 診	小谷	廣岡	友田	友田	友田	交代制
2 診	坂部	坂部	廣岡	小谷	交代制	
午後	小谷	小谷	友田	友田	交代制	交代制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	日曜日
甲状腺 専門外来			友田	友田		
睡眠時 無呼吸外来 (午後)		坂部				
補聴器外来 (午後)				小谷		

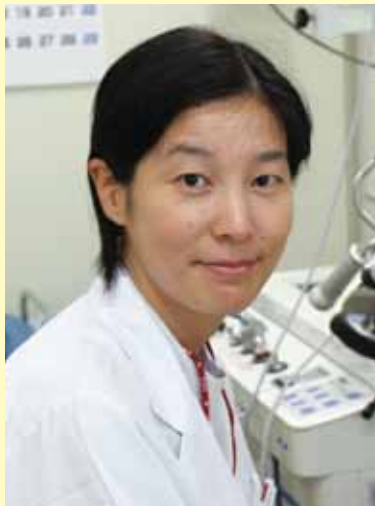
耳鼻咽喉科医師から一言

部長

ともだちさと

友田 智哲

平成 9 年 滋賀医科大学卒業
鳥取大学大学院卒業、医学博士、日本耳鼻咽喉科
専門医、内分泌、甲状腺外科専門医



頭頸部腫瘍、特に甲状腺腫瘍の手術を専門に行っております。

触知する腫瘍や頸動脈エコーで発見された甲状腺腫瘍にて、御紹介頂けた場合には、できるだけ当日中に甲状腺ホルモン値測定、頸部エコー検査をさせて頂き、結果を説明いたします。午後までお待ち頂ける場合には、初診日に超音波ガイド下細胞診を施行することも可能です。又、高カルシウム血症の原因の 1 つである副甲状腺（上皮小体）機能亢進症に対しての診断、手術も行っております。

甲状腺及び副甲状腺手術の場合、全身合併症が無い場合には、手術前日入院で対応し、抜糸は術後 2 日目におこないます。約 1 週間弱の入院期間で退院して頂き、患者さまの負担をできるだけ少なくしたいと考えております。

又、甲状腺腫瘍は女性に多い病気でもあります。創部に対しては、皮膚保護剤などを積極的に使用し、傷痕をできるだけ目立たなくする工

夫や、術後の頸部違和感を軽減するストレッチ指導なども行っております。患者様に満足していただける手術及び術後管理を心がけておりますので、必要な症例がございましたらいつでもご紹介頂ければ幸いです。

副部長

こ だに ひろ こ
小谷 宏子

平成9年 鳥取大学卒業
鳥取大学大学院卒業、医学博士、日本耳鼻咽喉科
専門医、補聴器適合判定医



耳鼻咽喉科一般診療、補聴器外来を担当しております。

補聴器外来の受診の前に、まず一般外来を受診していただき耳の疾患の有無、聴力を確認しております。その後専門外来で語音聴力検査を行ったあと、補聴器のフィッティング、適合検査を行います。補聴器を実際の生活の場でしばらく使用していただいた後、使用感、不具合を感じる点などを確認し、場合によってはさらに何度か調整および試聴を行い、補聴器装用の効果を確認した後での購入をお勧めしています。

高度難聴の患者様には身体障害の書類作成、補装具意見書の作成も行っております。

補聴器を新規に希望される方だけでなく、すでに補聴器を購入しているがうまく使いこなせ

ない方、補聴器が必要かどうか迷っておられる方もお気軽にご相談下さい。

また、手術では主に鼻副鼻腔領域を担当しております。副鼻腔手術の他、下甲介手術、鼻中隔矯正術にも常時内視鏡を使用し、より正確かつ安全に手術ができるよう努めております。昨年より副鼻腔手術にはナビゲーションシステムも導入しました。

従来歯齦部切開をされるが多かった術後性上顎嚢胞も、可能な限り内視鏡下鼻内手術で開放しています。術後の顔面の腫れ、頬部周囲のしびれがなく、術中術後の出血を抑えることができ、患者様の苦痛が少なくなりました。

保存的治療で改善しない副鼻腔炎、鼻閉等でお困りの患者様がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい。

副部長

さか べ あき こ
坂部 亜希子

平成13年 産業医科大学卒業
日本耳鼻咽喉科専門医、日本医師会認定産業医、
騒音性難聴担当医、補聴器適合判定医



耳鼻咽喉科一般診療、および睡眠時無呼吸外来を担当しております。

睡眠中のいびき、無呼吸を指摘されている方や、日中の眠気でお困りの方がいらっしゃいま

したらお気軽にご相談ください。

当院ではご自宅で行える簡易検査や、一泊入院で行う睡眠検査により、患者様の睡眠中に得られる様々なデータを解析し、原因を解明して参ります。治療方針の決定には鼻咽腔の形態なども検討し、CPAP 治療のみならず必要に応じて外科的治療も行なっております。また、口腔内装具が適すると思われた方には他医療機関と連携し、歯科へのご紹介を行っております。

なお、勤労者のニーズに合った診療を心がける為、睡眠時無呼吸外来は毎週火曜日 16 時～17 時 30 分に開設し、一泊入院の検査の際には 18 時入院、翌朝 7 時頃退院と、なるべくお仕事に支障を来さない様工夫しております。さらに本年 4 月より、CPAP 治療において症状が安定されている方を対象に、日曜日の CPAP 外来（完全予約制）も開設しております。どうぞお気軽にご相談いただければと思います。

医師

ひろ おか ゆみ こ
廣岡 友美子

平成 17 年 北里大学医学部卒業



耳鼻科一般を広く勉強中で、現在は外来を週

2 回担当させて頂いております。特に局所麻酔下での手術（下口唇のう胞摘出術、小唾液腺生検等）、通年性アレルギー性鼻炎に対してのアルゴンプラズマ療法やラジオ波凝固加療を担当しております。今後はアルゴンプラズマ療法とラジオ波凝固療法との患者満足度及び治療効果の比較検討なども行って参りたいと思います。内服加療などで軽快しないアレルギー性鼻炎症例がございましたら、いつでも御紹介下さい。

医師

やまうら あすか
山浦 明日香

平成 20 年 産業医科大学卒業

4 月から赴任する山浦です。主に病棟を担当させていただきます。不慣れなこともあるかと思いますが、笑顔で頑張ります。

よろしく願いいたします。

耳鼻咽喉科常勤医師が、すべて女性という、全国でも珍しい勤務体制となっております。地域の先生方からは、“女性ばかりで大丈夫？”とお声をかけて頂くこともございます。しかしながら、特に問題なく診察、加療させて頂いていると自負しております。体力面などでも、外来担当看護師と共にマラソンに出場したりと、体力増進にも心がけております。

今後も地域の先生方のご希望に沿えるよう努力して参りたいと思っております。何卒ご指導ご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

